



外国出張報告書

平成 25 年 9 月 26 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 25 年 8 月
3. 出張目的 商品作物適正生産技術の現地適応試験の収穫

4. 成果の概要

5 月の出張で設定した、本年度のナムアン村における栽培試験のトウモロコシを収穫した。昨年度実施した農民慣行による栽培では殆ど収穫なしであった。本試験では、適切な施肥および栽植密度によってどの程度の収量向上が望めるかを確認した。結果は ha あたりおよそ 4 t の収量が得られ、推奨技術の効果が確認された。なお生育ムラが大きかったため、圃場内の生育の異なる部分からトウモロコシと土壌の分析サンプルを採取した。有機物の効果的施用法に関する参加型技術開発試験は、作物残渣の投入がない場合は収穫皆無であったのに対し、トウモロコシ残渣投入区では 3 t、稲ワラ投入区では 4.5 t の推定収量が無施肥で得られた。投入バイオマス量が同じ場合、炭素率の高い稲ワラの収量が高く、またトウモロコシは半量でも収量に差がないという結果であった。この結果にカウンタパートは強い関心を示し、カウンタパート機関側で引き続き参加型技術開発試験を進めるとともに、並行して試験場内で確認試験を実施することになった。